

誘導加熱装置の導入事例

株式会社東亜鍛工所

1. はじめに

当社は1937年に名古屋市内で創立し、現在は三重県の川越町に工場を構えている（写真1）。川越町は、三重県の北部に位置し、町の東には伊勢湾が臨む。

創業以来、一貫して鍛造品の生産に取り組んでおり、主に自動車部品、産業機械向けに、デフギア・ベアリングなどのローリング品（写真2）やギア・シャフトなどの型打品・フリー鍛造品を生産しており、



写真1 工場外観



写真2 製品（ローリング品）

“お客様の発展を協力をサポートするモノづくり”を合言葉に常に、より良いサービスの提供を目指し日夜レベルアップに励んでいる。

このたび品質面の向上を主目的に誘導加熱装置を導入したので、その事例をここに紹介する。

2. 会社概要

2.1 会社概要

- (1) 会社名：株式会社 東亜鍛工所
- (2) 所在地：三重県三重郡川越町大字豊田 668 番地 1
- (3) 創立：1937年6月1日

2.2 主要設備

- (1) 切断機
 - 1) ビレットシャー 450t 1台
 - 2) バンドソー $\phi 250$ 1台
 - 3) 丸鋸 $\phi 100$ 1台
- (2) 鍛造機
 - 1) 鍛造プレス 450t 1台
1,000t 1台
1,600t 2台
 - 2) リングミル $\phi 200$ 1台
 $\phi 260$ 2台
 $\phi 300$ 1台
 - 3) トリミングプレス 400t 2台
500t 1台
 - 4) 鍛造用ロボット 3台
 - 5) パレタイジングロボット 3台
- (3) 加熱炉
 - 1) 誘導加熱炉 1台
 - 2) 燃焼加熱炉（重油） 3台
- (4) 熱処理
 - 1) 焼準・焼鈍炉 5t~10t 2台
 - 2) ショットブラスト 1t 1台